

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 29 日

事業所名 ふれあいきず読谷

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4				
	2	職員の配置数は適切である	3	1			●常に求人を出してはいるが、有資格者の獲得が難しい。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3	1			●バリアフリー化はされています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	1			●毎日、MTIにて情報共有を行っています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	1			●アンケート結果を踏まえ、業務改善に努めています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	1			●ホームページにて公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		2	2		●外部評価を取っていない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4				
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	3	1			●定期的に支援会議を行っています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	2			●アセスメントツールの使用ができていない。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4				
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4				
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4				
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4				
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	1			●次の日のMTIに持ち越しになることが多い。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4				
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4				
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	4				

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	3	1			●児童発達支援管理責任者、もしくは管理者が参加してい ます。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡 調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連 絡)を適切に行っている	4				
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている	1	2	1		●対象児童の受け入れがない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている	1	3			●相談員との連携を行っているため、書類にて共有する事が ほとんど。 ●児童相談所からの児童受入れもあり、そちらとの連携を取 ることが増えています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行す る場合、それまでの支援内容等の情報を提 供する等している		3	1		●該当児童がいない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援セ ンター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている	1	3			●専門機関との連携する機会がない。 ●受けたいです。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある	2	1	1		●コロナウイルス拡大の影響もあり外部での活動機会が減っ ています。図書館や地域の児童館などの利用を増やし地域交 流の機会を増やしていきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している	2	2			●読谷村では協議会の開催が活発にあり、LINEグループに て情報共有を行っております。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	4				
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っている	1	3			●必要に応じて、メッセージや電話、直接事業所へ来ていた だき、話し合いの場を設けています。	
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	3	1			●契約時に負担額や利用時の金額について詳しく説明を行っ ています。また、受給者証更新時に負担額に変動がある場合 は都度詳しく保護者に対して説明を行っています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行って いる	4				
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している		1	3		●保護者同士の集まりは行ってない。 ●保護者アンケートからも、必要性がないご家庭がほとんどで す。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している	4				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	3		1		●会報は行ってない。各保護者へ発信を行っている。
	35	個人情報に十分注意している	4				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	4				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等 地域に開かれた事業運営を図っている		2	2		●事業所へ通っていることを対外的に発信することに対して 抵抗感を抱いているご家庭もある為、現時点でそういった取り 組みは考えておりません。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	1			●契約時に、避難訓練等の実施について保護者へ説明を行っています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4				
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	2	2			●身体拘束が必要になる対象児童がいない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	1			●保護者からの情報を基に対応しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4				